

平成 23 年度（2011 年度）温室効果ガス排出量算定における 東日本大震災の影響の取扱いについて（案）

1. 背景

自然災害や事故の際の温室効果ガス排出・吸収量の計上方法や取扱いに関する規則は、国連気候変動枠組み条約（UNFCCC）が定めているインベントリ報告ガイドライン及びインベントリ審査ガイドラインには記載がない。しかし、両ガイドラインにおいては、報告対象の完全性、算定の正確性、算定方法の一貫性などが求められており、インベントリ審査においても、それらの点が重点的に審査されることになる。我が国で起きた東日本大震災についても、その影響を算定方法で考慮しているかなど震災に関連した指摘や質問が審査で行われる可能性がある。

この点を踏まえ、第 1 回インベントリ WG（平成 24 年 10 月 31 日開催、森口 祐一座長）においては、東日本大震災の影響を踏まえた算定方法の対応方針に関する検討が行われ、その結果、各分科会で今年度取りまとめる 2011 年度インベントリについて、東日本大震災が与えた影響や生じた問題点等を把握し、その状況等に応じて対応を検討することとされた。

これを受け、各分科会において、東日本大震災に伴う対応の必要性等について検討が行われた。

【インベントリ WG で示された検討の観点】

- ・統計等のデータに欠損等があるか、また、当該欠損が補正等されておらず総排出・吸収量へ与える影響が大きいか
- ・震災により、通常想定されていないようなオペレーション（操作、活動）が行われたか
- ・データの欠損等の問題について、インベントリレビューの観点から対応が必要か
- ・欠損等のままのデータについて、推計等を行うことに実現可能性があるか、また、適切な推計等が可能か

2. 各分科会における東日本大震災の影響の取扱い（案）

各分科会における東日本大震災の影響の取扱いに係る検討結果は以下の通り。

担 当 分 科 会	主な検討結果（対応方針案）
エネルギー・工業プロセス分科会	<p>○ インベントリ算定に使用しているデータについては、補正処理等を行っており、排出量への影響は小さいと考えられることから、インベントリ作成時においてデータの補正・推計等を行わない。</p>
運輸分科会	<p>○ 「自動車燃料消費量統計調査」（総合エネルギー統計含む）以外については、特に震災の影響は無かったと報告されていることから、特にデータの補正・推計などは行わない。</p> <p>○ 自動車走行量・燃料消費量については、今後、総合エネルギー統計の集計の考え方が明らかになり次第、その方法に従う。</p>
農業分科会	<p>○ 畜産分野に関しては、立入が制限されている区域以外については、飼育頭数は把握されていると考えられ、同区域が与える全体への影響は小さいと考えられる。なお、農業に従事していない家畜は算定対象とならない可能性が高い。</p> <p>○ 農地分野に関しては、主たる統計である「耕地及び作付面積統計」において、統計に欠損等はないと考えられる。警戒区域では農地にそのまま作物が残されている可能性もあるが、影響は小さいと考えられる。</p>
HFC等4ガス分科会	<p>○ インベントリ算定に使用しているデータについて、震災によるデータの欠損などは生じていない。</p> <p>○ 震災によって生じた可能性がある一時的なGHGの排出については、破壊された冷凍空調機器からのHFCの漏出が考えられるが、全体に与える影響が軽微であるとともに、その推計値については検証が必要なため、現時点ではインベントリには計上しない。他の機器についても同様。</p>

<p>廃棄物分科会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「日本の廃棄物処理」、「水道統計施設業務編」などの排出量の変化が軽微と推測される統計データの欠損については、インベントリでの補正等を行わない。 ○現時点で2011年度の統計データが得られないものについては、来年度引き続き検討を行う。 ○災害廃棄物のうち現行インベントリに含まれないものの処理に伴う排出、仮設焼却炉における災害廃棄物の焼却に伴う排出など、排出係数やパラメータについて更なる精査が必要なもの、現時点で必要なデータが把握できないものについては、来年度引き続き検討を行う。
<p>森林等の吸収源分科会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○震災による森林被害の影響は、森林簿の更新の際に反映される。ただし、森林簿の更新時期が第1約束期間終了後となる森林計画区については、被害材積を推計して排出量を求め、通常の数値で得られる森林吸収量から差し引く方法を検討中である。 ○一部統計でデータの欠損や、震災以降の情報更新が行われない場合があるが、対象となる面積が非常に小さく全体に与える影響はほとんどないため、特にデータの補正・推計などを行わない。